

3類型	農林水産物	通巻番号	3-19-045
地域資源名	サンブスギ	認定日	平成20年3月6日
地域	千葉県市原市ほか	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：サンブスギの端材を活用したウッドプラスチックプロジェクト

会社名：株式会社佼和テクノス

所在地：千葉県市原市能満2143-75

連絡先：TEL：0436-75-3507

H P : <http://www.kowa-technos.co.jp>

FAX：0436-75-3508

事業概要(新たな活用の視点)

・千葉県山武地域の地域産業資源であるサンブスギは、従来、全国的に優良なブランド木材であった。しかし、近年の外来材マーケットの拡大や後継者不足、さらに、溝腐病による商品価値の低下等により、手入れされずに放置されている未利用森林面積が拡大しているという問題が発生している。そこで、当社はその問題を重視し、もともとクローン挿し木で栽培されているサンブスギの質の均一性に着目し、木粉と石油樹脂の混練コンパウンドである「ウッドプラスチック」を開発することとした。



【放置されている風倒木、病倒木】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・本商品であるウッドプラスチックは、極めて高い木質比率で石油系熱可塑性樹脂と混合しており、その比率自体が商品に決定的な差別化をもたらしている。

◆市場性

・本事業のエンドユーザーはエコプロダクツに興味のある層、または、付加価値による商品力に興味のある層である。この層は通常商品に比して多少高くとも購買する特長を持っている。また、LOHASなどの健康や環境への配慮する層が急速に増加しており、商品等の購買に当たっては、今後もこのような層が増えることが見込まれている。これにともない今後も市場ニーズは増えていくことが予想される。

◆販路

・ウッドプラスチックを用いた商品開発を進める射出成型メーカーの増大を目指す。
 ・ウッドプラスチックで成型した商品の販売先として、文具関連企業、玩具関連企業、雑貨関連企業、インテリア(内装)関連企業、建材関連企業等が想定される。
 ・エンドユーザーとしては、製造ロットの少なさを希少性に価値を見出す子供を含めた環境商品に興味のある層や、エコプロダクツとしてノベルティ価値を認める消費者、環境にやさしい暮らしに興味を持つ層等を想定している。

地域資源における関係事業者との連携

・事業関係者は、川上すなわち資源提供側としては、地域の組合、山林所有者および製材所と連携し、既に材料提供についての可能性を検討しつつある。他方、川下すなわち商品の製造、提供先側としては、各成型メーカーならびに商品メーカー、企画会社等と連携し、商品開発に臨む。